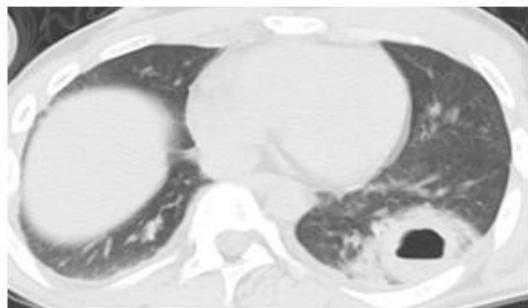


A Case of the 10 days

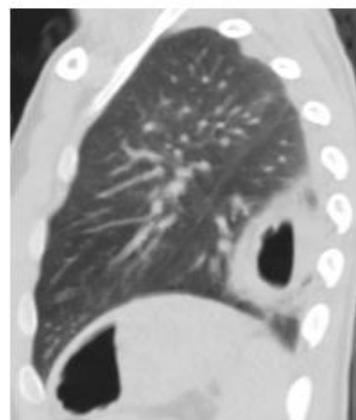
Case 342

肺空洞病変

A



C



B



左下葉に空洞を有する病変
がみられます。
その周囲にスリガラス状
変化を認めます。

肺膿瘍と膿胸の共通点と違い

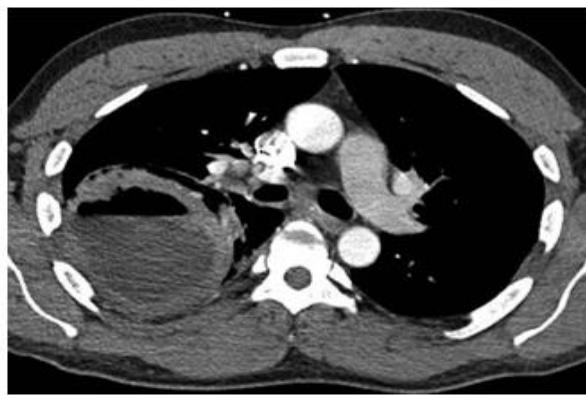
- ・共通点

空洞と液貯留：Air Fluid Level

- ・違い

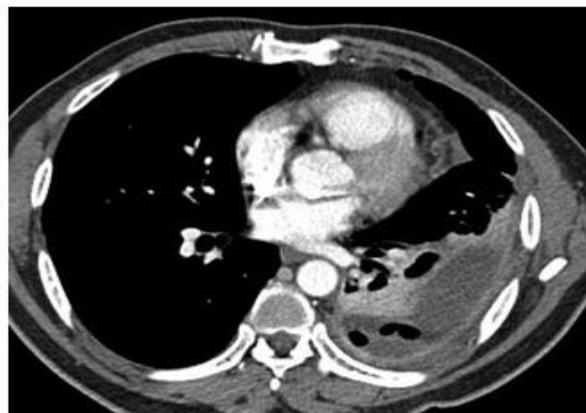
肺実質との辺縁が鋭角なのが肺膿瘍

肺実質と鈍角なのが膿胸



肺膿瘍

肺実質と病変との境が鋭角



膿胸

肺実質と病変との境界が鈍角

肺空洞を有する病変

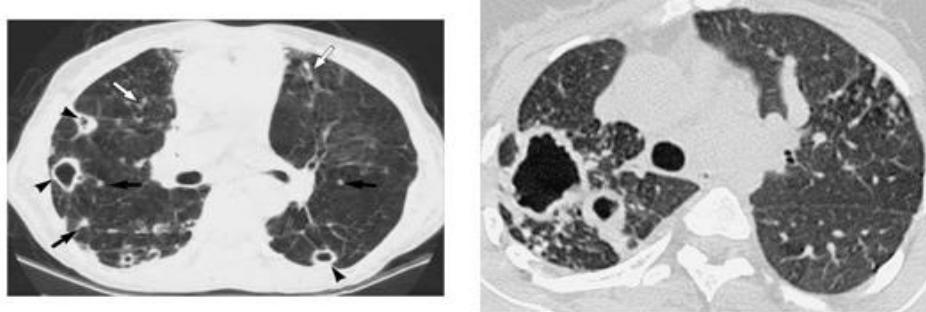
- ・原因は様々・・・炎症、腫瘍、自己免疫疾患、先天性、血管性
- ・炎症：1970年代は結核最多、
現代は 細菌性、結核、非結核性抗酸菌症、真菌症
- ・腫瘍性：扁平上皮癌 腺癌 転移性肺癌
- ・自己免疫疾患：多発血管炎肉芽腫症(旧名、Wegener肉芽腫)
- ・先天性：炎症性囊胞に移行し空洞様構造
- ・血管性：敗血症性塞栓



細菌性肺膿瘍

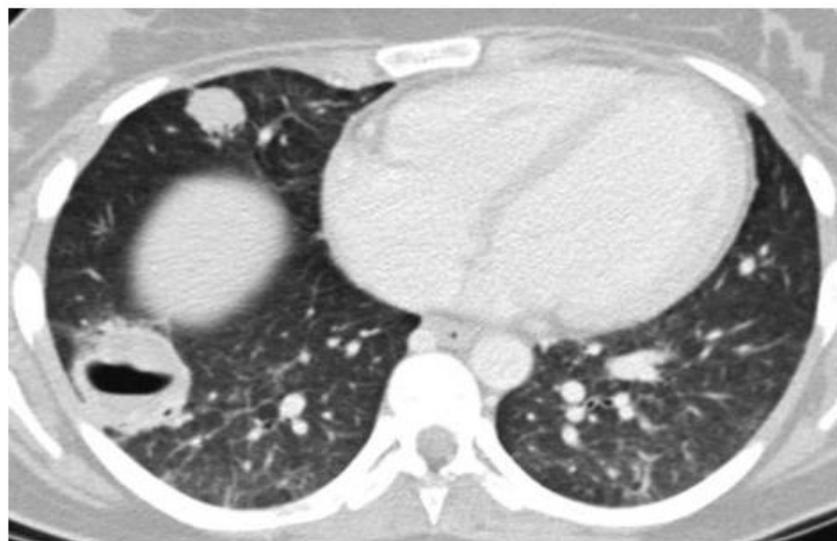


肺結核

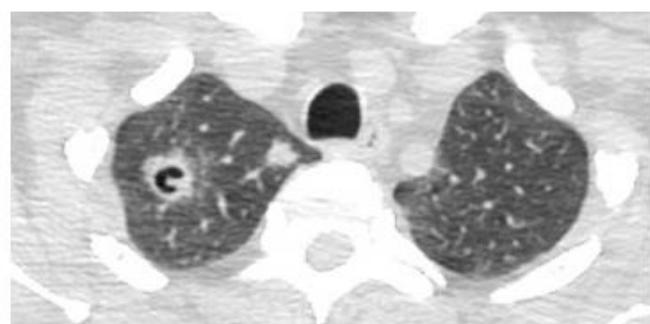


非結核性抗酸菌症

炎症性



自己免疫疾患：多発血管炎肉芽腫症(旧名、Wegener肉芽腫)



真菌症クリプトコッカス

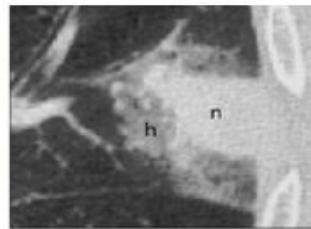
**Pulmonary nodule
with halo sign**

Stage of disease

- Early IPA

Relevant tissues

- Pulmonary parenchyma
- Intralesional concentrations



**Pulmonary sequestrum-
air-crescent sign
Late disease**

Stage of disease

- Late/resolving IPA

Relevant tissues

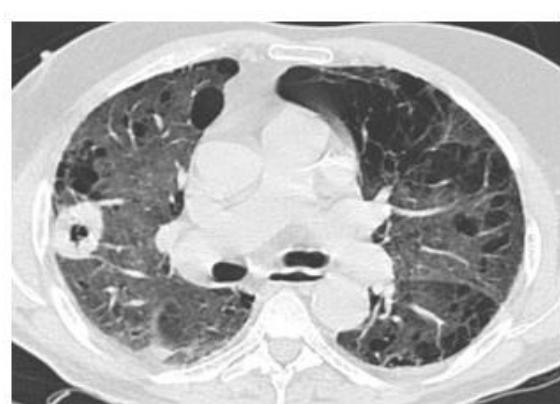
- Pulmonary parenchyma
- Sequestrum



真菌症アスペルギルス症



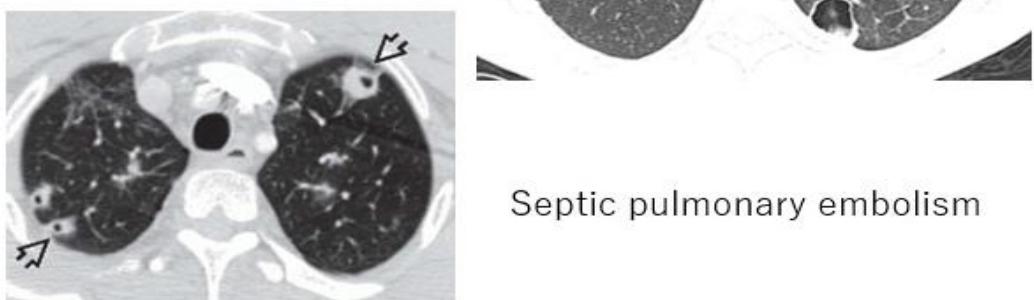
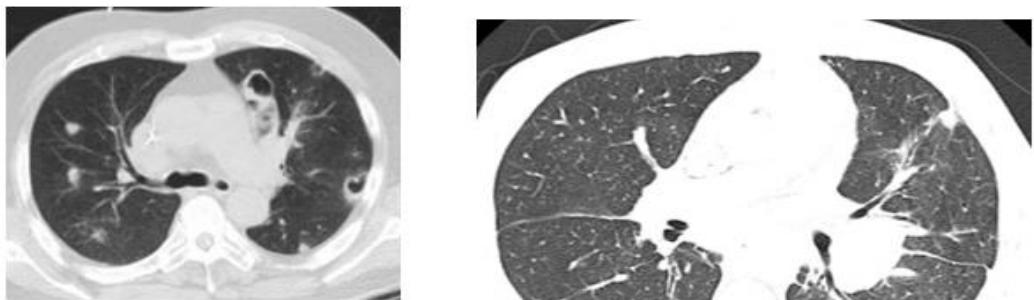
肺癌 扁平上皮癌



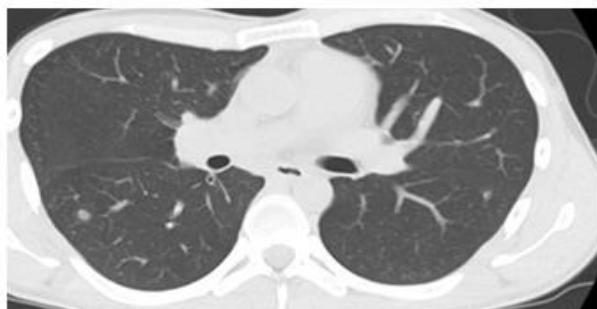
肺癌 腺癌



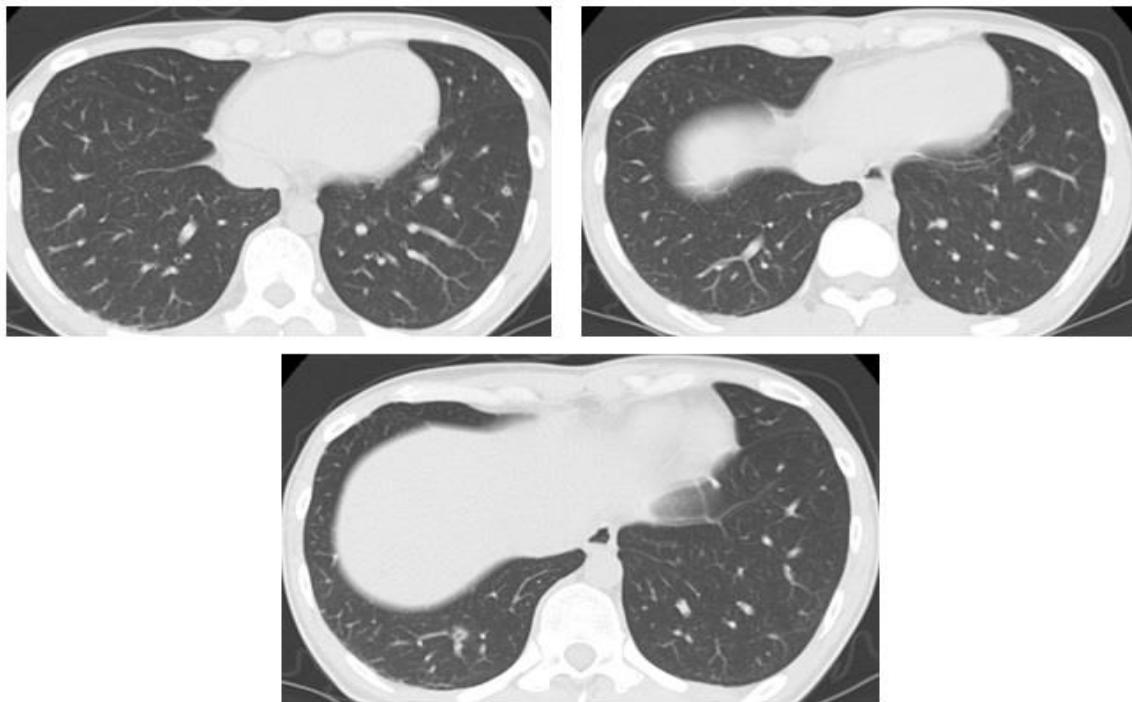
肺囊胞：先天性のpneumatoceleに炎症が合併



Septic pulmonary embolism



両側下肺野に小空洞を有する
小結節の散在がみられます。
敗血症による変化と診断された。



肺空洞を有する病変

- ・原因は様々・・・炎症、腫瘍、自己免疫疾患、先天性、血管性
- ・炎症：1970年代は結核最多、
現代は 細菌性、結核、非結核性抗酸菌症、真菌症
- ・腫瘍性：扁平上皮癌 腺癌 転移性肺癌
- ・自己免疫疾患：多発血管炎肉芽腫症(旧名、Wegener肉芽腫)
- ・先天性：炎症性囊胞に移行し空洞様構造
- ・血管性：敗血症性塞栓

[English page](#)

2024.7.5